



2016年1月1日

発行 協同組合盛岡卸センター
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南一丁目2番15号
TEL 019-638-1111(代) FAX 019-638-4532
URL <http://www.morioka-oroshi.jp/>

迎春



「飛躍の新年」

撮影：岩手県写真連盟「Kフォトクラブ」星 岩男氏

年頭のあいさつ

理事長 藤村文昭

新年明けましておめでとうございます。組合員並びに賛助会員の皆様方には、新たな気持ちで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、国民の多くが関心をよせた安保関連法案が九月に可決され、集約的自衛権の行使が可能となり、戦後日本の安全保障政策は大きな節目を迎えました。

経済関連では、平成二十五年七月に正式に交渉参加していた「環太平洋パートナーシップ(TPP)」の各国との交渉が昨年十月に大筋合意したことを受けて、農産物を中心に関税撤廃による国内生産者への影響が心配されています。

また、九月には台風十八号により北関東を中心に記録的な大雨が降り、茨城県では鬼怒川など西部を中心に河川の堤防決壊や越水などの災害に見舞われ、昨年各地で自然災害の多い年でした。

一方、大村智・北里大学特別栄誉教授が寄生虫に有効な薬を開発し多くの人を失明から救った功績で医学生理学賞、梶田隆章・東京大学宇宙線研究所所長が素粒子ニュートリノに質量が有ることを発見した功績で物理学賞と日本人二人がノーベル賞を受賞したことは喜ばしいことでもあります。特に、梶田氏が受賞したことを機に、I・L・Cへの理解が広まることを期待しています。

また、七月には釜石橋野鉱山(橋野高炉跡及び関連遺跡)が世界遺産に登録され、我々県民にとって大きな喜びでありました。

当組合では、組合事業の重要項目である売却施設の早期実現において、一昨年に引き続き倒産物件と買取施設それぞれ一件の売却が実行でき、組合員施設においても数件の売買取引があり、団地周辺の不動産需要が高まって来ており今後も卸団地への企業の進出に期待するところであります。

一方、懸案事項である金融事業の廃止時期、盛岡物流センター施設の早期売却実現など重要課題も抱えております。これらの諸問題を昨年の役員改選により新たに発足した執行部体制の基、早期に解決し、団地の活性化と組合財政基盤の強化に鋭意努力して参りますので、組合員を始め関係各位のご支援をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

理事会結果報告

第八回理事会（十一月十九日開催）

一、報告事項

(1) 盛岡物流センター事業運営報告

十月の取扱い物量は一万一千六百七十一ケース、収入合計六百八十九万九千円、支出合計七百三十九万九千円と報告。

(2) 組合収支状況報告（九月末決算）

九月末試算表を基に中間決算書を作成したのでその収支状況を報告。

貸借対照表の流動資産は五億二千一百万円である。前年同期比で三億六百万円減少している。主要因は金融事業の縮小と倒産先不動産の売却に伴う貸付金の回収により、短期転貸貸付金が三億三千三百万円減少したことによるもの。固定資産は二十三億二千二百万円。半期分の減価償却をみているため昨年に比べ三千万円減少している。資産合計は二十八億四千万円である。流動負債は八億八千六百万円であり、前年同期比で二億九千六百万円減少している。主要因は資産同様金融事業の縮小と倒産先不動産の売却に伴う借入金返済によるものである。固定負債は十億四千一百万円であり、前年同期比五千八百万円減少。主要因は長期借入金の約定返済によるもの。その結果、純資産は九億一千六百万円となっている。

損益計算書の共同事業収入合計が三億六千万円であり、前年同期比六千万円の減少。共同事業費合計は三億四千六百万円であり、前年同期比六千四百万円の減少。事業収支差益（粗利益）は一千三百九十九万円で前年同期比四百七十万円の増加となっている。

収支ともに減少した主要因は共同給油事業の仕入単価の下落によるもの。収支全体では減少しているが、物流センター事業の費用の減少などにより収支差益は増加した。

賦課金収入、事業外収入を合わせた総収入は三億九千九百万円となっている。

一般管理費は二千八百六十万円であり、前年同期比二百五十万円の増加している。

減価償却費は関係する各事業に年間減価償却予算の二分の一、合計で一千五百六十万円を計上している。事業外費用を合わせた費用合計は三億七千五百万円である。その結果、九月末現在中間決算時点での当期利益は前年同期比二千一百五十万円の増加の一千六百二十八万円となっている。

(3) リサイクル事業 平成二十七年上期実績報告

今年度上期は、参加企業数四十九社五十二施設で昨年に比べ三社多い参加で実施した。リサイクル品目（段ボール、新聞、雑誌、ペットボトル、アルミ缶、スチール缶）の収集実績は、六品目合計七万二千二百三十キロで、参加企業に対して一キロ当たり三円の還元を行ったことを報告。

(4) ハードディスク破壊装置の利用案内について

パソコンを廃棄する場合の情報漏洩対策として、ハードディスクのデータ消去ができる記憶メディア破壊装置を組合事務局に設置し、組合員が格安で利用できるよう案内したことを報告。

(5) 次回理事会の開催日時・場所について

二、提出議案

第一号 組合保有地の売却について

当組合買取り施設（旧榊熊長アサヒ販売施設）をトリアン（株）（第三部会所属）に譲渡することが承認された。

第二号 榊青金商店に対する貸付金遅延損害金の請求に係る合意について

当社に対する貸付金元金完済後、未収となっていた遅延損害金の支払い方法についての合意内容が承認された。

第三号 榊中儀本店に対する貸付金の請求に係る合意について

当社の破産に伴い、当社施設を売却し貸付金回収後の残金の支払いについて当社から提出された条件を協議した結果、継続審議することになった。

第四号 団地内施設及び組合出資持分の譲渡について

（株）新宮商行（第四部会所属）の施設及び組合出資持分を（株）佐々木商事に譲渡することが承認された。

第五号 平成二十八年新春セミナー並びに新年交歓会の開催について

平成二十八年新春セミナー並びに新年交歓会の詳細について承認された。

第九回理事会（十一月十七日開催）

一、報告事項

(1) 盛岡物流センター事業運営報告

十一月の取扱い物量は一万一千二百五十七ケース、収入合計六百五十四万四千円、支出合計六百六十一万七千円と報告。

(2) 物流センター高度化資金連帯保証人の変更契約について

組合役員改選に伴う連帯保証人変更契約を十一月十九日に締結したことを報告。

(3) 榊青金商店に対する貸付金遅延損害金の請求に係る合意について

前回理事会で承認された合意内容で合意書を書いたことを報告。

(4) 平成二十八年新春セミナー並びに新年交歓会について

平成二十八年新春セミナー並びに新年交

歓会の開催案内通知を招待者及び組合員等に送付したことを報告。

二、提出議案

第一号 中小企業高度化資金承認申請書（物流センター目的外利用）の提出について

盛岡物流センター用地を駐車場として貸付することは、目的外利用であることから岩手県に対して使途変更申請を行うことが承認された。

第二号 榊中儀本店に対する貸付金残金の請求に係る合意について

前回の継続審議となった条件について協議し、組合としての対応が承認された。

平成28年新春セミナー・新年交歓会のお知らせ

恒例の新春セミナー並びに新年交歓会を次の通り開催いたします。皆様多数のご参加をお願い申し上げます。

- 日時：平成28年1月21日（木）午後4時
- 場所：「ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING」
盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL：625-1211
- 講師：岩手県 政策地域部 科学ILC推進室
室長 佐々木 淳 氏
- 演題：「ILC（国際リニアコライダー）の実現に向けて」
※セミナー終了後、新年交歓会を開催

「2015岩手流通センター活き活き祭」開催

十月十一日(日)盛岡地区勤労者共同福祉センター大ホールを主会場に、「岩手流通センター活き活き祭」を開催した。

この祭は、岩手流通センター内企業・団体と周辺企業等で組織する岩手流通センター活性化委員会の主催で、当組合も積極的に参加した。

六回目となる今回も、東日本震災の復興支援を共通のテーマに、協賛商品の売上金全額と来場者から寄付していただいた古着や古紙を回収し換金後の全額を義援金として十月二十九日にIBC岩手放送を通じて募金した。

祭には、岩手流通センター内企業を中心に三十九社の出店があり、多種多様な商品が安価で販売された。最初のステージアトラクションである幼稚園・保育園の園児による演技は、あいにくの雨となり急遽体育館で行われた。その後は曇り空のもと野外ステージでキャラクターショーやライブなどが行われ、子供から大人までたくさんの人で賑わった。来場者は六千五百人。



第十七回卸団地従業員親睦ボウリング大会開催

十一月十一日(水)ビッグハウス・スパールーインにおいて開催した。

(参加数 十九社 二十五チーム 百名)

- 《団体戦》
- 優勝 東北シート工業(株)
 - 準優勝 石橋ハマプラス(株)
 - 第三位 オヤマダエンジニアリング(株)A
- 《個人戦 男性》
- 優勝 川原 治(石橋ハマプラス(株))
 - 準優勝 北田 大地(東北シート工業(株))
 - 第三位 小原 潤(岩手ヤクルト販売(株))
- 《個人戦 女性》
- 優勝 村井江代子(丸乃タイル(株))
 - 準優勝 天麻 由恵(丸幸商事(株)A)
 - 第三位 藤村 智子(株竹村製作所)



秋の二斉清掃を実施

十一月五日(木)流通センター内秋の一斉清掃を実施した。毎年この時期は落ち葉の量がかなり多いため、側溝なども清掃の重点にしている。



当日午後から環境整備委員会で巡回したところ年々清掃状況が良くなっていると感じられた。

今回は特に敷地内から歩道に植栽がはみ出し、歩行者の妨げになっている所が数カ所あったことから速やかに対処するようにお願いした。

「第二部会定例会」の開催

十一月五日(木)盛岡市内において五社八名の参加により第一部会(繊維部会)定例会と繊維企画委員会との合同会議を開催した。

会議では、先に行われた共同売出しの結果報告と宣伝方法についての検討が議題にのぼった。

また、部会カレンダーについて、来年は団体の開催地になることから部会としての応援を盛り込むこととデザインの検討が行われた。

二十八年新春初売りは一月四日(月)に開催することが決定した。



ラポール盛岡1Fロビー催事予定

	催事内容	開催日
1月	乾物・珍味販売	7 14 21 28
	婦人服販売	25 26 27
	たい焼・たこ焼販売	8 14 20 25 29
2月	乾物・珍味販売	4 18 25
	婦人服販売	29
	たい焼・たこ焼販売	5 10 15 19 25 29

※都合により追加・変更になる場合があります。

「第二・三・五部会 合同忘年会」の開催

十二月十一日
(金)盛岡市内において第二部会(食料品)・第三部会(建設資材・設備)・第五部会(雑貨・事務用品・家具・ギフト)の合同忘年会を開催した。

合同忘年会は今年で十三回目を数え、過去最多となる四十九名が参加した。毎年恒例行事として定着した合同忘年会であるが、初めて参加する人も多く、異業種間の交流が広がり有意義な会合となった。



「第四部会秋季懇親会」の開催

十一月二十日
(金)盛岡市内において第四部会(機械・器具)の秋季懇親会を開催した。

組合会館(ラポール盛岡)に入居している各銀行の管理職を招き、十二社三



十四名の参加であった。恒例となっている秋季懇親会も、年々参加者が増えてきている。部会員間の情報交換や交流が持たれ親睦を深めた。

「第六部会視察研修会」の開催

十一月十日(火)恒例の第六部会(農用資材・薬品)の視察研修会を十三名の参加により開催した。

復興を象徴する水族館として七月にオープンした「仙台うみの杜水族館」ではイルカやアシカの臨場感あふれるショーを観覧した。

また、展示されている生き物の種類の多さや設備は誰もが楽しめる工夫がなされており、参加者は時の経つのも忘れて見入っていた。



三井アウトレットパーク仙台港ではスケールの大きさと商品の多さに戸惑いながらも買い物を楽しんだ。当日は天候にも恵まれ充実したバスの旅であった。

「第六部会忘年会」の開催

十二月十日(木)盛岡市内において第六部会(農用資材・薬品)の忘年会を六社十二名の参加により開催した。

懇親会では、メンバーへの各社の取り組みや消費税率アップに伴う軽減税率に関する話など、部会員間の交流が持たれた。



「経営研究会 十二月例会」の開催

十一月十八日(木)盛岡市内において経営研究会十一月例会を開催した。

今回の例会は、独立行政法人中小企業基盤整備機構との共催として一般社団法人



人岩手県中小企業診断士協会理事であり土岐経営支援事務所代表の土岐徹朗氏を講師に迎え、「企業の持続的発展を目指す会計」と題して講演会を行った。このセミナーは、「中小企業の会計の質の向上に向けた推進計画」の一環として中小企業庁が実施しており、会計の啓発・普及として、「信用力のある決算書作成の必要性」「経営に活かす会計」「税制改正のポイント」などをわかりやすく解説して頂いた。

「桐華会十二月例会 (忘年会)」の開催

十二月十五日(火)盛岡市内において全会員十名の参加で桐華会十二月例会を開催した。

はじめに、松田会長の挨拶において会員の協力のもと、一年間無事活動出来たことに対し感謝の意が述べられた。

懇親会では、イタリアで修行し出身地の盛岡で出店したシェフの料理を堪能しながら、この一年を振り返った。

来年もまた元気に活動出来ることを願い、大志田前会長の締めで終了した。



生活習慣病予防健診。 がん検診を実施

十一月十日(火)と十六日(月)から十八日(水)まで盛岡地区勤労者共同福祉センターにおいて生活習慣病予防健診(けんぽ健診)及びがん検診を実施した。四日間の受診者数は三百五十人であった。

三十五歳以上七十四歳以下で協会けんぽに加入されている方は、内容も手厚く費用も安価な秋のけんぽ健診での受診をお勧めしたい。



岩手県中小企業団体中央会 創立六十周年記念式典及び表彰

十二月十五日(火)盛岡市内において開催された。

式典は中央会副会長である当組合の松田博之名誉会長による開会宣言により開会した。

達増拓也岩手県知事らの祝辞のあとに行われた表彰では、当組合から齊藤哲哉副理事長と太田代武彦理事、組合事務局砂子澤康人受託施設管理課長と佐藤岳夫総務課長の四人が組合功労者として岩手県中小企業団体中央会会長表彰を受賞し

た。

式典終了後は、「日本経済の見通しと今後の中小企業経営への指針」と題し、東京大学大学院伊藤元重教授による記念講演が開催された。

引き続き行われた記念パーティーでは千葉茂樹岩手県副知事の乾杯の発声により祝宴に入り、三百人を超える出席者で賑わった。

盛大に開催された記念行事は盛岡商工会議所谷村邦久会頭の音頭による三本締めでお開きとなった。



青森県流通団地連絡協議会 団地組合女子職員研修会

十一月十三日(金)と十四日(土)に青森県流通団地連絡協議会の主催で団地組合女子職員研修会が当組合で開催された。

初日の研修会は組合会館(ラポール盛岡)において(株)サンメディカル常務取締役の福田裕子氏を講師に迎え、心理学の観点から対人関係のあり方を学び、参加者からは大変好評であった。

二日目は盛岡市内の名所を周遊した。特に報恩寺の五百羅漢は、修行中に欠伸をしたり、隣の者とおしゃべりしたり、

滑稽な格好をする者がいたり、今昔変わらぬ様相に感銘を受けた。また盛岡の地で女子職員研修会をしたいと言う声もあり、大盛況に終えた。



組合員情報

(敬称略・一)内前代表者

社名変更
▽国分東北(株) (第二部会)
(旧社名 東北国分(株))

代表者変更

▽(株)ヒロセ (第一部会)
代表取締役社長 菅井伸一

▽(株)バンザイ (第四部会)
代表取締役社長 柳田昌宏

▽(株)三協医科器械 (第六部会)
代表取締役社長 千葉光春

▽みちのく流通(株) (賛助会員)
代表取締役社長 谷村広和

代表取締役社長 藤下 努

事業所開設

▽マルエス工業(株) (第三部会)

住所 盛岡市流通センター北1-10-11

電話 019-1639-0411

FAX 019-1639-1137

行事予定

▽(株)トラスト (第四部会)

住所 矢巾町流通センター南3-5-7

電話 019-1681-4418

FAX 019-1681-4419

1月

4日(月) 矢巾町新春の集い (矢巾町)

6日(水) (株)岩手ソフトウェアセンター 取締役会 (市内)

7日(木) 岩手経済同友会 新年祝賀交歓会 (市内)

// 第一部会(靴部会) 例会

8日(金) 第一部会(繊維部会) 例会

9日(土) 盛岡市・玉山村合併10周年記念式典 (市内)

18日(月) (株)寿広新社屋竣工式

21日(木) 組合新春セミナー並びに新年交歓会 (市内)

27日(水) 全国卸商業団地厚生年金基金代議員会 (東京)

// 盛岡地域雇用開発協会役員会 (市内)

28日(木) 全国卸商業団地協同組合連合会役員会・賀詞交換会 (東京)

29日(金) 第4部会新年会 (市内)

2月

5日(金) 谷村久興氏旭日小綬章受章記念祝賀会 (市内)

9日(火) 経営研究会2月例会(栗石町) 第10回理事会

18日(水) 第4部会ホウリング大会(市内)

// 岩手県中小企業青年中央会

27日(土) 若手経営者等連携交流フォーラム (市内)

ハードディスク破壊装置

をご利用ください。

古いハードディスクや故障したハードディスクのデータ削除にお困りではないですか？

組合では、情報漏洩対策としてハードディスクのデータ消去できる、記憶メディア破壊装置を組合事務局に設置いたしましたのでご利用ください。

【利用方法】

利用者は破壊する媒体を組合事務局に持ち込みして、事務局職員立ち会いのもと破壊作業を行います。破壊した媒体は返却いたします。

（利用時間）9：00～17：30（土日祝日除く平日）

【利用料金】

料金表 ※ハードディスクはPCから取り外してお持ちください。

媒体	数量	利用料金
3.5 インチ HDD 厚さ1インチまで	1台	組合員(※1) 500円 (税抜)
2.5 インチ HDD	1台	
携帯電話	2台まで	員外 1,000円 (税抜)
FD、CD、DVD、MO	10枚まで	

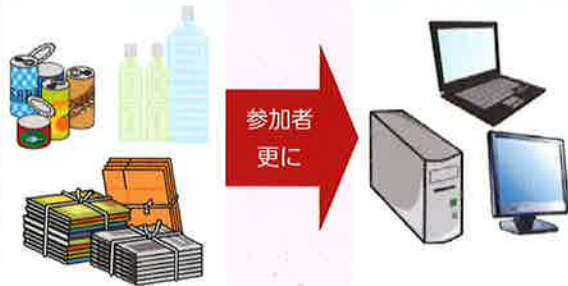
※1：賛助会員、従業員、リサイクル事業参加者を含みます。

●詳しくは、盛岡卸センター業務課までお問い合わせください。

リサイクル事業

このリサイクル事業は、協同組合盛岡卸センターと環境整備委員会が協力して、流通センター内企業の皆さんと一緒に取り組むリサイクル活動です。ごみを分別回収して資源化することによって、ごみの減量、更にはCO₂排出量の削減をはかり、環境に配慮した企業活動を行うことで社会貢献につながります。

更に上記リサイクル事業参加者を対象に、パソコンを無償で引き取りし、専門業者がリサイクル処理するパソコンリサイクルを行っております。貴重な資源の有効活用のためリサイクル活動にご協力よろしくお願いたします。



- ①段ボール ②新聞紙
③雑誌・一般紙 ④アルミ缶
⑤スチール缶 ⑥ペットボトル

- ①ノート PC
②デスクトップ PC 本体
③液晶ディスプレイ

●詳しくは、盛岡卸センター業務課までお問い合わせください。

地域の未来を 中小企業とともに。



商工中金

本店 東京都中央区八重洲2-10-17
www.shokochukin.co.jp/

盛岡支店 019(622)4185

〒020-0021 盛岡市中央通3-4-6

個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定 (当金庫内比較)

固定金利の半年複利 (元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

安心、確実、お得に増やす

定期預金 **マイハーベスト**